

2022年10月26日
株式会社アマダ

ファイバーレーザーマシン「REGIUS-3015AJe」が MM 賞を受賞

熟練度を問わない高速・高品質加工へ、新開発の NC 装置「AMNC 4ie」を搭載



株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:磯部 任)は、10月25日、ドイツハノーバーで開催されている世界最大級の板金加工業界の見本市「EuroBLECH 2022」において、MM 賞を受賞しました。

MM 賞は、ドイツで最も権威のある製造業界誌「MM MaschinenMarkt」が、金属加工業界における先進的、革新的な出展製品に対して表彰する賞です。受賞した商品は、誰にでも高速・高品質な加工を可能にするファイバーレーザーマシン「REGIUS-3015AJe」です。

現在、板金加工の製造現場では、さらに高まる精度の要求や短納期への対応、加工技術の伝承などを背景に生産性の向上や段取り・操作の簡易化に対するニーズが高まっています。

「REGIUS-3015AJe」は、これまでの「REGIUS-AJシリーズ」の機能を引き継ぎながら、新開発のビームコントロール技術でこれまでにない滑らかな切断面を実現し、高速と高品質を両立させました。

加えて新開発のNC装置「AMNC 4ie(アムエヌシー フォー アイ イー)」を搭載。オペレーターを顔認証して作業者に合わせた操作画面の起動、言語表示、権限の切り替えなどを自動で行うことで、熟練度を問わないマシンへと進化しました。さらに、モバイル端末によるリモート操作を採用し、マシンから離れた場所でも状態を監視できるほか、材料の管理やスケジュール作成、加工をリモートスタートさせるといった一元管理ができ、一人で複数台のマシン操作が可能になりました。

MM賞は2022年より一般投票による受賞となり、「REGIUS-3015AJe」は多くのお客さまに支持されました。今後もアマダは、差別化した加工技術でお客さまの課題とニーズを解決し、モノづくりに貢献します。

以上